



カネッ!

あ、あれ...え...?
あ、あれ...え...?

吹雪……そういうわけで
自分は時間を持って余しているんだ……。

疲れているところすまないが……
エッチな事でもして
汗を流してみないか？

……

……はい……司令官。
何をすれば良いですか？

くっ……いきなり随分激しく
動くじゃないか吹雪……
良い感じだぞ……っ。

……当然です……司令官の
おち○ちんを……あ。
気持ち良くさせてもらって
いるんですから……
頑張らないと……

おのち

そ、そうか……
うぐっ……！吹雪……
お前のその頑張りに
俺のチ○ポも応えたい
みたいだ……遠慮なく
出させてもらおうぞ……っ！

おのち
おのち

おのち
おのち



さて……と。
とはいえ、こんな場所だ……
誰かが通りかかる前に
さっさと終わらせないと。

……は……い……っ……。

ゴッ

ガッ

ん？……やれやれ

すごいものだな……
まだまだ全然からみついてくるな
このスケベな膣は……。

きゅんきゅん

待っている……ご希望通り
またすぐに自分の精子を
食らわせてやるからな。

.....は.....あつ.....
.....ぐっ.....

良いぞ、その調子でもっと
からみつけるんだ.....っ.....
たっぷりと自分のを
こすり付けてやるからな.....っ!

かぐんっ

かぐんっ

かぐんっ

パンスト!

パンスト!

ゴシゴシ

ゴシゴシ

ゴシゴシ

ゴシゴシ

ゴシゴシ

うぐっ.....全く.....
気持ちの良い
オマ○ヨだ.....っ!
も、もうイク.....!
また出させてもらっぞ.....っ!



はははは
ああああ
.....
!!

かぐんか
=

うおおおおお
.....
!!

ジュン
ジュン
ジュン

ジュン
ジュン
ジュン

.....
○

……悪かったな、吹雪。
走り込みの最中に
邪魔をしてしまった。
おかげで自分も良い汗を
かくことが出来た。

……いえ……
司令官のお役にたてたのなら
……何よりです……

それじゃ……もう走り込みに
戻ってくれても構わないぞ。
自分はまだもうヘトヘトだから
休ませてもらう事にするよ。

……はい
……ありがとうございます
……司令官。

カチカチッ

ゴト

ゴト

ゴト

ゴト

おっと・・・ちよっと待ってくれ能代・・・

はい・・・？

え？

カチッ



その前に・・・起きたばかりで
そんなかつこうをみせられたせいで
すっかりこうなってしまうってな。

かっつ

こんなに興奮したままでは
今日の活動に支障がでるのでな・・・
おさめてくれないか？

・・・そうですか

・・・それは仕方ありませんね。

・・・了解しました。

・・・この能代・・・

喜んでお相手させていただきます・・・

ジュン

ジュン

ほら、入ったぞ……。
こうなるともう出し終えるまでは
引き抜けないからな……っ。

ぐっ！

……はい……提督……
望むところですよ……。

じゅぽんぐっ

……いん……

……いん……

奥にまで入ってるんだ……
たっぷりとお前の肉で
搾り取ってくれよ……。
ほら、膣肉をしめつけるんだ。

ぐっ！

……はい……
……わかりました……。

(ふむ・・・やはりお人形化すると
言う事もすんなり聞いてくれるな・・・)

はあ・・・

(まあ・・・せっかくだ、いつもの能代とは
少し違う感じの能代を見てみたたくもある・・・。
よし・・・)

能代・・・

はい。

今度はお前が上になって
淫乱になってエッチな言葉を
言いながら腰を振ってみるんだ。

はあ・・・

ゴロ・・・

ゴロ・・・

ゴロ・・・

ゴロ・・・



あんっ！♡あんっ！
あんっ！♡あはっ！♡ああんっ！
提督のオチ○ポ・・・
とても素晴らしいですっ♡

能代・・・エツちな声が
とまりませえんっ♡
ひあんっ！♡あうっ！♡きやはっ！♡

ゴウゴウ

ゴウゴウ

ゴウゴウ

ゴウゴウ

おんん！♡

おんん！♡

擦れる度にオチ○ポが
ビクビクして・・・きやんっ！
とつても可愛いですよ♡
ふふっ♡ほらっ♡ほらっ♡

あ・・・ああ・・・そうか・・・
（ふむ・・・こんな感じに
なるのか・・・思ったより激しいな。
それとも能代が本当にエツちなのか？）

気持ち良い・・・っ！
提督のオチ○ポ大きすぎて
・・・あんっ！♡能代のオマ○コ
おかしくなっちゃう！♡あはっ♡

提督・・・♡いつでも出したいときに
お出しになってもらって
構いませんからね！♡はあんっ！
でもイク時は一緒に
お願いしますよ！♡
あっは！♡一緒にイって・・・
子宮にたっぷり精子を
かけまくってください！♡

はあああっ♡気持ち良いっ
気持ち良いですう♡
ジュツポジュツポ気持ち良いっ
あはあっ！♡ひいんっ！♡

ぐ・・・っ！
激しすぎるぞ能代・・・
ダメだ・・・もうっ！



あああああああああああああああああああああ
精子来ましたっ！
精子好きいつ！
うぐうつ……！お……おい……
少しは加減をだな……！
このあとプールに様子を
見にいかなくては……。

あああああああああ
！！！！！！！
！！！！！！
！！！！！！

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

プールう？♡様子見い？♡
うふふつ♡そんなのどうでも良いじゃ
ありませんか♡ひあつ♡
能代と一緒に気持ち良い事
していきましょう？♡

ふふつ♡ふふふふふふふふつ♡
気持ち良いっ♡んあつ♡
お腹が提督で満たされて
いきますう♡あはああああつ♡



なん.....で.....

あ.....れ.....?

ゴメン

カメシ

すまん、白雪.....。
お前のおかげですっかり
勃ってしまったんだ.....。
悪いが、付き合ってもらうぞ。

うっ……くっ……!!
相変わらず大人しそうな顔をして
随分と吸い付きの良い
オマ○コだな……白雪っ。

ズムンッー!

……挿れた途端に随分と
濡れてきたぞ?
そんなエッチな汁を
出されるとこっちも
頑張らないといけない気分にな
ってきてるじゃないか。

ピキッ

ピキッ

ほら、白雪……聞こえるか？
お前の出してるエッチな
汁のおかげで、こんなに
音がしているぞ。……くっ。

真面目な白雪とは思えない
本当にいやらしい
いけないオマ○コだな……っ！
はあっ……！はあっ……！

うぐっ……！
な、なんだ……！？





なんだ・・・恥ずかしかったのか
白雪・・・っ！
いきなりめちやくちやに
しめつけるからだして
しまったじゃないか・・・！

あ・う

...

かっけん

...

...

ぐんぐん

いっしょ

いっしょ

はあ……！はあ……！
何か……不完全燃焼だな……。
よし……もう一回
させてもらおうぞ……。

ぽんぽん

かぐんっ

自分だけ気持ち良くなって
しまつてすまないな。
白雪、今度はお前も気持ち良くなれるように頑張ってみるから
もう少し感情を
出してみてくれないか？

……感情を出す……？
すみません……司令官
……良くわかりませんが
……やってみます。

ああ……それじゃあ……
気を取り直して……。

ジュン

ぽんぽん

ジュンジュン

ジュン

よし……またつながったぞ……白雪。

……はい、司令官……
今度は満足できるよう……
自分のタイミングで……

ちゅぽんぽん

すまん、白雪……それでは
お言葉に甘えさせてもらおう
ことにしようか……

ぐんぐん

んん

はい……たくさん擦りつけて
……たっぷり子宮に
お出してください……

はあ……はあ……はあ……
たっぷり出させてもらったぞ……
白雪……はあっ。はあっ。

……そうですね……
これだけ出せば……
満足していただけましたか？

ああ……はあ、はあ……っ。
気持ち良かったぞ……

……それはよかったです……
それではプール清掃に戻ります。

ぽんぽん

びんびん

（って、またっいつい
やってしまった……！
ただ様子を見に來ただけ
だったんだが……
しかも、床も少し汚して
しまったし……）

たしか次は川内と交代すると
言っていたか。
また後で様子を見に
來ることにするか。

(.....で、結局こうなってしまうか.....)

.....

.....

んっ.....相変わらず良い
フェロモン臭をだしているな
お前のココは.....

はえ

はえ

この味も.....じゅるっ!
.....病みつきになるものがある.....

.....



ふむ……
だいぶ濡れてきた……か。

ふっ……こんな風になっても
身体は正直なもの
なんだな……。

カッ
カッ

それに……何かヒクヒクしているのか？

なんだ川内……お前も……。

ゴゴゴゴゴゴ

ゴゴゴゴ

ゴゴ

ゴゴ

ゴゴ



やれやれ……少し聞くのが
遅かったか……。

まあいい……
これだけ濡らせれば十分だ……。

ハァッ

ハァッ

ゴツゴツ

ゴツゴツ

じぢぢぢ

じぢぢぢ

それじゃ、川内ばかり
良くなってないで……
今度は自分も
気持ち良くしてもらうぞ？

うん……わかったよ……提督……

じぢぢぢ

うっ……。よし、入ったな……。

「ハッ」

奥にまでちやんと
飲み込んだか……。くっ。

「ハッ」

「ハッ」

＝

＝

＝

……

それじゃあ……。遠慮せず
動かさせてもらっぞ。

あ・ん・つ

グチヤミ

グチヤミ

グチヤミ

グチヨミ

グチヨミ

くっ・・・良いぞオマ○コの中が
ぐにゅぐにゅとうねって
汁もこんなに
飛び散っているじゃないか。

ぽるんっ♡

ぴゅっ

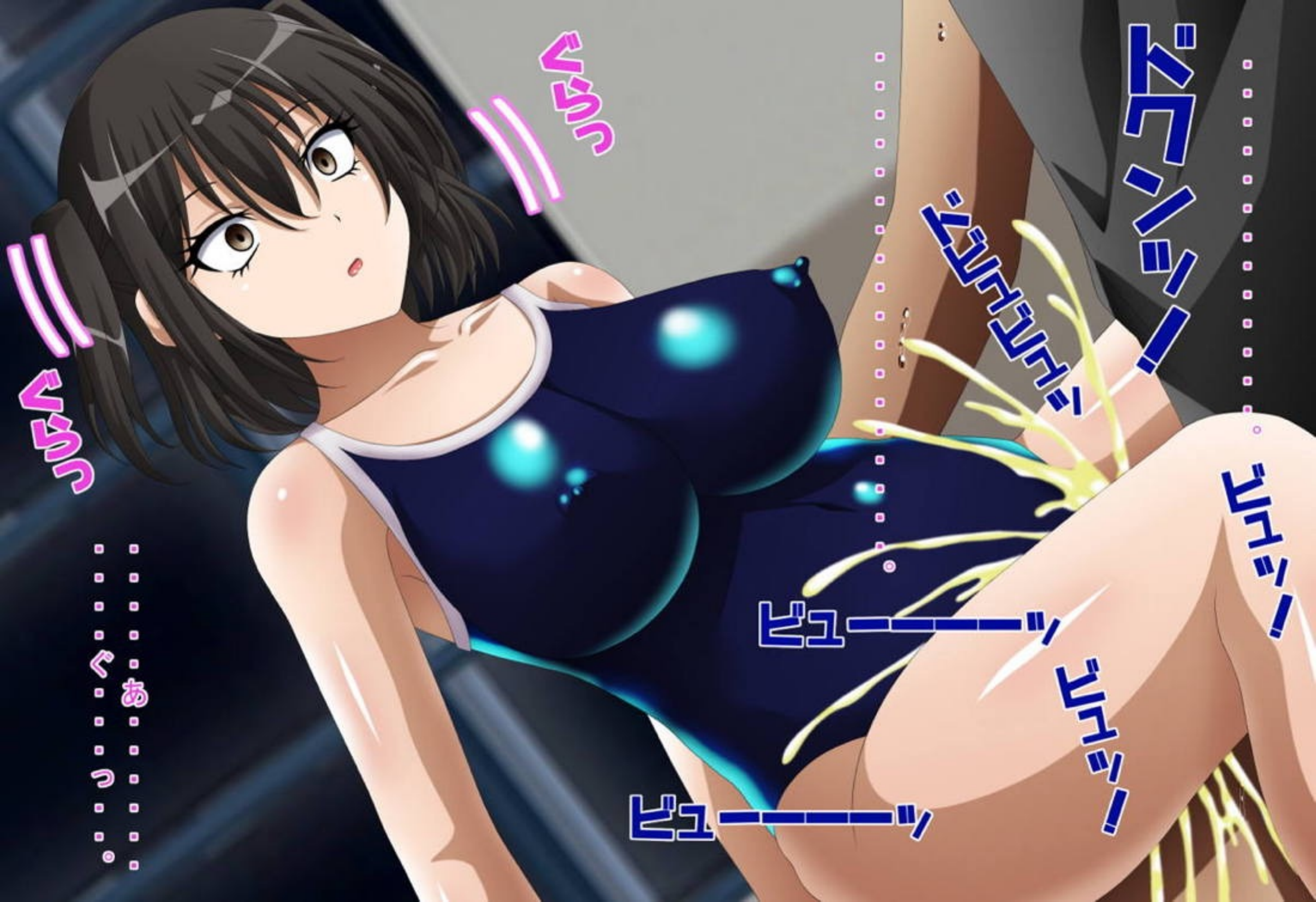
がしゅっ

ぽるんっ♡

やれやれ・・・
こんなにされたんじや
早速出でしましそうだな！
・・・くっ！
一度出すぞ・・・っ！

わかったよ・・・提督・・・

がしゅっ



ジュッ

ジュッ

あ.....
っ.....

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ふう……。ふう……。
どうだ？川内……。
お前も気持ち良くなっているか？

……。うん……。
とつても……。
気持ち良いよ……。

ぞうか、だったら嬉しそうな顔をしないとだめだぞ。ほら、ちゃんと笑顔で自分に愛情表現を試してみるんだ。

かんたんっ

ズビッ

ズビッ

あはは♪
気持ち良いー！。気持ち良いー！。
気持ち良いよ……。提督。

おははっ

ふっ、良いぞ……。
さて、と……。
それじゃあそのまま
もう一回お相手して
もらおうか。

くっ……良し、まだまだ
しめつけもキツいままだな。
それじゃ、動くぞ。

がしっ

あっは……嬉しいねえ……
提督のおチ○ポ……
気持ち良いー……

うんぬん

んん

提督のおチ○ポ最っ高……
……あんっ。
気持ち良いー。気持ち良いー。

そうか、そんなに
気持ち良くなっ
てくれているならこっちも
動きがいいがあるな。
その調子でもっと
しめつけてくれ。

私のオマ○コ……
提督のお子○ポ
大好きなんだって……
ぐっ。

提督好き……
好き……
大好き……
大好きっ……

うんぬん

うんぬん

んんん

んんん

オマ○コの中に
提督の精子欲しくて
仕方がないよ……
いっぱい……
いっぱい……
だしてよね……
……あっは。

提督……たろっつぷり
こすりつけて……
いつでも好きなときに
出していいか……

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



はあーん

はあーん

んーん

んーん

んーん

んーん

んーん

んーん

んーん



